

2014年9月8日  
株式会社日立製作所  
日本イーライリリー株式会社

## 日立と日本イーライリリーが放射性医薬品合成設備「NEPTIS® plug-01」の 国内販売基本契約を締結

認知機能低下に関係するアミロイドβプラークを可視化する放射性医薬品の合成設備として  
日本で初めて医療機器製造販売承認を取得、販売を開始

株式会社 日立製作所(執行役社長兼 COO:東原 敏昭/以下、日立)と日本イーライリリー株式会社(代表執行役社長:パトリック・ジョンソン/以下、日本イーライリリー)は、このたび、日本国内における放射性医薬品合成設備「NEPTIS® plug-01」\*1 の販売基本契約を締結しました。

本設備は、アルツハイマー型認知症に関係する脳内アミロイドβプラークを PET 検査にて可視化できる「florbetapir (18F) 注射液」を医療機関にて合成するために用いられるもので、2014年7月3日、日本イーライリリーが医療機器製造販売承認を取得しました。今回の基本契約に基づき、日立は9月9日より販売を開始するとともに、導入エンジニアリングから運用サポートまで、幅広いサービスをあわせて提案していきます。

アルツハイマー型認知症は認知症の中で最も発症頻度が高いと報告されていますが\*2、その原因の一つとして、アミロイドβというたんぱく質の脳内への異常な蓄積が考えられています。これまで、脳内のアミロイドβプラークを可視化するための薬剤や、その薬剤を合成する装置は、日本国内において承認・販売されていませんでした。今回の日本イーライリリーによる「NEPTIS® plug-01」の医療機器製造販売承認の取得と、日立の販売開始により、日本においても脳内のアミロイドβプラークを可視化することが可能となります。

日立は、これまで PET 支援サービスソリューションを通じて、PET 用放射性薬剤の合成環境構築や合成支援を行ってきました。特に高度な技術が必要とされる治験・研究用の新しい薬剤合成に関しては、日立が構築した製造環境で医療機関とともに高い成功率を実現してきました。一方、日本イーライリリーを含むイーライリリー・アンド・カンパニーは、25年にわたりアルツハイマー型認知症をはじめとする認知症領域における研究開発を継続しており、認知症の診断から治療まで、幅広いパイプラインを有しています。今回、日立と日本イーライリリーが「NEPTIS® plug-01」の国内販売基本契約を締結したことにより、両社は相互補完的な関係で設備の拡販やそれに付随するサービスの提供に努めます。また、高齢化と共に増加を続けるアルツハイマー型認知症の適切な診断へ貢献していきます。

なお、医療機関における「NEPTIS® plug-01」の運用開始までには、本設備の導入決定後、規模や運用などに応じて相応の準備期間が必要となります。



「NEPTIS® plug-01」

\* 1: NEPTIS ®は、Optimized Radiochemical Applications SPRL (ORA)社の商標です。

\* 2: 「認知症疾患治療ガイドライン 2010」(一般社団法人 日本神経学会)

#### ■本件お問い合わせ先

株式会社日立製作所 ヘルスケア社営業統括本部ソリューション営業部 [担当: 百川]  
〒101-8010 東京都千代田区外神田四丁目 14 番 1 号(秋葉原 UDX)  
電話 03-4564-9388 (直通)

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---